

令和4年度保育園における自己評価

評価項目	評価内容	課題
保育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育方針や目標の共通理解に努めた。 ・ 前年度の課題をもとに各年齢に応じた年間計画を作成し、子どもが主体となることを大切にし、遊びを通して様々な力が育まれるよう工夫していくことができた。 	
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが自ら環境にかかわり、子ども主体の遊びとなるよう、環境や援助について職員間で意見交流を行い実践へとつなげていった。 ・ 新型コロナウイルス感染防止で行事を見直し、ドリームショウや夏祭り等みんなで考え工夫し、子ども同士の関りが深まった。 ・ 菜園活動を通して収穫の時期を知ったり、自然と関わる楽しさを知ることが出来た。 ・ 子ども一人ひとりの理解を深め、多様性を受け止めることに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達に合った遊びや興味の変化にそった遊びの展開、環境構成や援助の在り方を追求していく。 ・ 子どもの多様性を受け止めながら主体的な活動をどのように引き出していくのか追求していく。
保育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全、清潔という環境面だけでなく、安心して自己発揮のできる保育に努めた。 ・ 一人ひとりの発達に合わせた援助を行うことで、基本的な生活習慣を身につけられるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウイルス感染対策を行いながら、安心・安全な空間の中で遊べる工夫を心がけていく。
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 菜園活動を通して、食べる喜びや楽しさを味わいながら食べ物への興味関心を持てるようにしている。 ・ 家庭との連携をとるようにして、子どもの食生活の充実を図っていくようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成長に合った食育活動の工夫を行う。 ・ アレルギー対応について詳しく話し合い共通理解していく。
健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登園時の視診・検温・連絡帳などで健康状態を確認することで感染防止の意識が高まっている。 ・ 感染症マニュアルに基づいて予防・発症に対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者それぞれに価値観の相違があり、感染防止の意識を高めていく。

人権保育	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びの中で頑張ろうとする力・主体性・自己肯定感を持てるような援助をしている。 ・人権や不適切な保育について職員間で気づきや振り返りの機会を持ち、共通理解をし保育に取り組んだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰かと比べるのではなく、一人ひとりを認めた上での援助を心がける。
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・業者による年2回の遊具点検、職員による遊具点検を実施することで事故防止に努めている。 ・年間計画に沿って月1回の避難訓練を実施し、記録している。地震・防犯訓練・交通安全も行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの行動を把握する中で危険に気をつけなくてはいけない場所を事故が起きる前に対策する。
苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が意見を述べやすいよう、意見箱・記入用紙を設置し、環境整備に努めた。 ・保護者の意見に対して、職員間で周知し、迅速に対応していくようにしている。 	
保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放・民生委員との交流はできないが、ホームページで日々の活動をドキュメンテーションとして掲載し、子どもの成長の喜びを保護者が感じられるように工夫した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すくすく広場は予約制にして密にならないようにする。 ・ドキュメンテーションの掲載の仕方を変え、保護者に見てもらえるようにする。
研修計画	<ul style="list-style-type: none"> ・園外研修についてはリモートで行われることが多い ・園内研修についてはエピソードやドキュメンテーションを作成し、保育を振り返り援助について見つめ直し実践し、子どもへの成長につながった。 ・研修報告を行い、全ての職員の学びの場となるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告にとどまるのではなく、学び、気づきを園の方針に沿って、どのように還元できるのかを具体的に報告し手立てを提案する。